



# 北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校  
学校だより  
No28  
文責 芹川博文  
11月15日(金)

## どの発表にも散りばめられた 個性の色と光の輝き

～ 菊心祭を見に来ていただいた多くの皆様、ありがとうございました ～



「私らが味わってきた苦しみを、ほかの誰かに味わわせるんじゃないで、同じ間違いば繰り返さんごつ、残された者が、頑張っていかなんとかじゃなからうか・・・。」

1年劇「不知火よ再び」



「働くという事が、どれほど責任をもってしなければならないことなのか実感できました。母は、外で仕事をした上に、家庭の中の仕事も私たちのためにやってくれています。時々、眠たそうにしている母の理由もわかりました。だから、少しでも母が体を休めてくれるようにできるだけ手伝いをしたいと思います。」 2年劇「不適切にもほどがある」  
～男女共同参画社会をめざして～



「よし、私絶対に頑張る。人の値打ちが、高校や何かで決まっていくなっておかしい。人の値打ちなんて、そんなもんじゃない。私自身の生き方だもん。」

3年 Human Documentary Drama 41人の軌跡

～私たちの進路選択～



劇以外の発表（オープニングの生徒会執行部手作りムービー、吹奏楽部のノリノリ演奏、委員長の思いのこもった挨拶、表現力豊かな少年の主張・プラチナ人財派遣・英語発表）にも心打たれました。そして、もちろんあの合唱も。今週月曜日の1時間目。生徒たちは展示を見学しました。熱心に見入る姿には、一つの大きな行事を終えた逞しさが感じられました。

虹が架かる空には雨が降ってたんだ 虹はいずれ消えるけれど雨は草木を育てていたんだ  
虹が架かる空には雨が降ってたんだ 忘れないよ こんな雨の日に空を見上げてきたこと

3年生自由曲 SEKAI NO OWARI 「RAIN」より

## 菊まつり見学の道中で光る 感性と行動力

～「気づく目」＋「拾う勇気」＝ 社会を明るくする力 ～



菊まつりを全校生徒で見学に行きました。北中の展示だけでなく、会場全体を見て回りながら、菊池市の伝統に触れ、お世話になった「菊の達人」の菊に見入っていました。【↓ゴミ拾いをする様子】

印象的だったのは、往復の道中、ゴミ拾いをした生徒がいたこと。

生徒たちが自主的に、しかも張り切ってゴミを拾うその感性と行動力に感動しました。ゴミは見える人にしか見えません。「気づく目」と「拾う勇気」が、身の回りの環境、引いては社会を明るくする力だと感じました。

